

記者クラブ各位

窓口の「いつもと違う」を、地域の支援へ 「つる子さん」実演の実践型研修で考える 高齢者見守りと消費者被害防止の連携

都留市は、令和8年9月4日（金）、都留市消費者安全確保地域協議会と高齢者 SOS ネットワーク会議の合同により、窓口や地域で高齢者と接する関係機関・団体の職員を対象とした「令和8年度 レベルアップ研修」を開催します。

本研修は、高齢者の小さな変化に気づき、本人の尊厳と意思を大切にした声かけを行い、家族や地域の支援機関へつなぐ力を高める実践型研修です。認知症看護認定看護師「チームふじやま」の協力のもと、暗証番号を思い出せず戸惑う80代女性「つる子さん」の来店場面を実演し、参加者は①本人理解 ②状態理解 ③感情理解 ④コミュニケーション ⑤意思尊重の5つの視点で対応を検討して、グループごとに実演します（「つる子さん」は架空の人物ですが、日常の窓口や地域で起こり得る場면을題材としています）。

都留市の消費生活相談窓口には65歳以上の方からの相談が全体の半数以上を占めており、高齢者等の消費者被害を未然に防ぎ、早期に発見し、必要な支援につなぐためには、消費生活、福祉、金融、郵便、警察等の関係機関の連携が重要です。本研修は、消費者被害防止と高齢者見守りの関係機関が実際の対応場面を共有し、連携をより具体的に考える機会として開催するものです。

開催概要

研修名	令和8年度 レベルアップ研修（都留市消費者安全確保地域協議会・高齢者 SOS ネットワーク会議 合同研修）
テーマ	気づく・声かけ・つなぐ ― 窓口からはじめる 高齢者見守りと消費者被害防止 ―
日時	令和8年9月4日（金）午後2時から午後4時30分まで
会場	都留市消防署2階会議室

対象	消費者安全確保地域協議会及び高齢者 SOS ネットワークの構成・協力団体に所属する窓口担当職員等
参加予定	約 20～25 人
講師・実演 協力	認知症看護認定看護師「チームふじやま」 C-table 本田氏
主催	都留市消費者安全確保地域協議会・高齢者 SOS ネットワーク会議

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

取材の見どころ

午後 2 時 5 分頃	午後 2 時 55 分頃	午後 3 時 45 分頃
【導入実演】 「チームふじやま」による「つる子さん」の来店場面の実演。暗証番号や手続きに戸惑う高齢者への対応を考える導入場面。	【グループワーク】 金融、郵便、行政、福祉、警察等の関係者が、5つの視点を用いて対応を検討する場面。	【窓口実演・発表】 参加者が、考えた声かけや支援へのつなぎ方を実演する場面。写真・映像の撮影に最も適した場面です。

取材時のお願い

- ・研修の趣旨や市の取組について、担当職員が取材に対応します。
- ・参加者個人への取材や、顔が判別できる撮影を希望される場合は、当日にお申し出ください。取材・撮影の可否について調整します。

お問い合わせ先

都留市 市民課 担当：秦 電話：0 5 5 4 - 4 3 - 1 1 1 1（内線 1 1 0）